

家族の危機と絆



この絵を描いた少女の家族背景が読み解けますか？



(14歳 女子)

読み解き篇 **11/1 (土)** / 13:00 ~ 19:00

- ・ 絵が語る絆の心理
1枚の絵の中に関係性はどのように表れるのか。
人間関係を読み解くための色彩心理入門。
- ・ 自分の子ども時代の絵から家族関係を再発見
現在の自分を知るために、人間関係のルーツである家族の姿を絵の中に探る。
- ・ ワークショップ
父、母、パートナーなど…。あなたにとって家族を象徴する色やモチーフとは？
- ・ 心理学におけるシンボルを検証する
これまでの心理学や絵画療法において、父や母を象徴するとされるシンボルは、絵の読み解きに活かせるのかを検証。

セラピー篇 **11/2 (日)** / 11:00 ~ 18:00

- ・ 危機『役割としての家族の限界』
絵の読み解きを家族救済に役立てるには。カウンセリングの事例紹介など。
- ・ ワークショップ & ロールプレイング
今、家族に何が起きているのか。
ワークショップとロールプレイングで探る、癒着と絆の間。
- ・ 「絵に表れる家族シンボル事典」の作成。
読み解きに役立つ自分のためのシンボル事典を作る。
- ・ 絵の読み解きライブ
2日間の修得内容を踏まえ、各自持参した絵の読み解きにトライする。

Message from 末永蒼生



色彩心理学者 / 「色彩学校」主宰
「末永メソッド 色彩心理研究所」代表

「子どものアトリエ・アートランド」での基礎研究をもとに、色彩を通してのカウンセリングとアートセラピーを組み合わせた「末永ハート & カラーメソッド」を体系化。子どもから社会人、高齢者までを対象に、福祉、教育、医療などの分野でメンタルケアに取り組み成果を上げている。多摩美術大学非常勤講師を経て、現在「アート & セラピー 色彩心理協会」会長。
著書『心を元気にする色彩セラピー』（PHP研究所）『クレヨン先生と子どもたち』ソフトバンククリエイティブ』人生を変える色彩の秘密』（光文社知恵の森文庫）ほか多数。

絆 心のネットワークを再生させるために

長年、絵を通しての心理的な読み解きを行っていると、絵に表現されたモチーフや色彩が、人としての絆を求める無意識のサインであることが感じられます。

ところが現実にも目を転じてみると、最近は家族の絆を破壊するような事件が目につきます。10代の子どもたちによる家族の殺傷、中高年の親による家族殺害（親から子への虐待）、無理心中事件。夫婦間のDV……。

このような社会現象は何を語っているのでしょうか。携帯電話に象徴されるように、多くの人々がこれまでになく個人をベースにした生活をしています。にもかかわらず、人間のメンタリティや生活習慣は、従来の家族依存型を脱することができないというギャップがあるのではないのでしょうか。家族内でお互いに依存するという習慣の中で育ってきた人間にとっては、独立した人間同士

としてのコミュニケーションは時に心理的な不安やパニックを起こさせます。家族を巻き込む事件の背景にこのような癒着した「家族関係」の心理的な混乱が潜んでいるようです。

今、私たちはこれまでの家族の枠を超えた新たな絆、開かれた絆のあり方を見出していく必要があるのではないのでしょうか？

絵に表現された家族の危機と個々人の「絆イメージ」を理解することは、人間関係に苦痛や悩みを抱えている人に、大切な人との絆作りのヒントを提供することができるはずですよ。

人間関係を新たな視点から考えたい方、心理カウンセリングなど心の問題、家族の問題をテーマに取り組んでいる方、子育てや教育に関わっている方、また絵を通しての心のケアなどに興味を持つ全ての方々に、ぜひ絵の読み解きの方法を身につけて頂きたいと思っています。

【絵の読み解き認定について】

「絵の読み解き認定」は、絵の読み解きの的確さ、深さと同時に、いかにクライアントに有益なカウンセリングができるかを判断し、その実践力に応じて認定を与えるものです。応募は年に1回。この講座を2日間受講された方が対象となります。審査は末永蒼生が行い、認定書の発行は末永の研究機関である「末永メソッド 色彩心理研究所」で行います。詳細については、講座当日に資料を配付いたしますが、早めにお知りになりたい方は、ハート & カラーまたは「色彩学校」のホームページからダウンロードしてください。

- ◆講師は末永蒼生他「色彩学校」専任講師が行います。
- ◆カリキュラムの内容は多少変更になる場合があります。
- ◆詳しい内容、募集要項、お申込は裏面をご覧ください。

企画：末永メソッド 色彩心理研究所
主催：(株)ハート & カラー「色彩学校」

URL HEART-COLOR.com